

第四中学校区新しい学校設立準備会・スクールツクール実施概要

2021年12月17日(金) 第1回 門真市第四中学校区新しい学校設立準備会

小中一貫教育とは? 【西孝一郎先生 講演】

小中一貫校(義務教育学校)になることについて、どう思いますか?

門真市のめざす小中一貫とは?

どこに建てるの? その間の子どもたちはどうなるの?

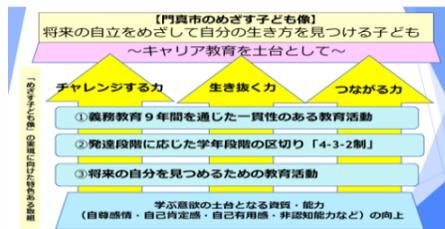
■小中一貫教育とは?

京都光華女子大学 西孝一郎 准教授をお招きし、なぜ小学校と中学校をつなぐのか、小中一貫教育をどう進めるのかなどについて講演いただき、小中学校のリレーゾーンを円滑にバトンパスできるようにしていく必要性を学びました。その後の意見交流にも参加いただき、委員の疑問にご自身の経験に基づきお答えいただきました。

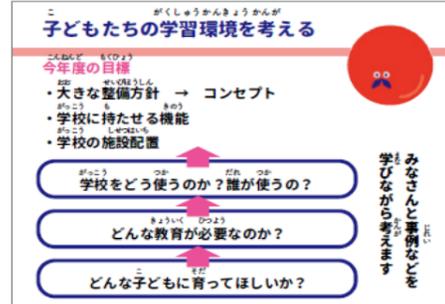


■意見交換「新しい学校でできそうなことを考えよう」

門真市がめざす小中一貫校(義務教育学校)のコンセプト(案)や、めざす子ども像として掲げる「将来の自立をめざして自分の生き方を見つける子ども」に向け、9年間を通じた教育が大切となること、また、義務教育学校の特色について説明しました。



2021年12月21日(火) 第1回 スクールツクール



■ヒアリング結果を知ろう!

ワークショップに先立ち、学校や保護者、地域などの関係者にヒアリングを実施しました。その結果を「困っていること・不安なこと」「学校や地域の取り組み」「これからやってみたいこと・考えたいこと」の3種類にわけ、カードにしてパネルに展示しました。



■意見交換「新しい学校でできそうなことを考えよう」

ヒアリング結果をまとめたカードから共感する、気になるカードを選び、それぞれの参加者が選んできたカードをグループ内で共有しました。内容に応じて、新しい学校でできるとよさそうな事例をファシリテーター(進行役)が紹介しつつ、門真の新しい学校でできそうなことを意見交換しました。



2022年1月12日(水) 京都市立凌風小中学校 視察

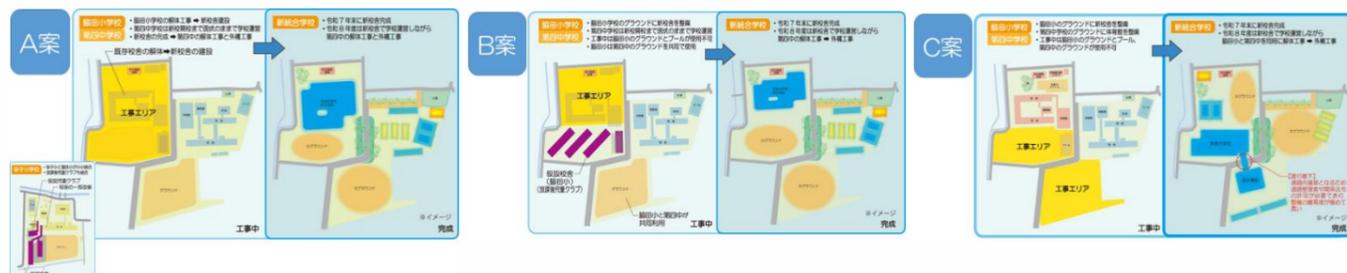
小中一貫校(義務教育学校)のイメージを膨らませるため先行事例として京都市立凌風小中学校を訪問し、学校の方針や施設コンセプトについてお聞きするとともに、施設や子どもたちの様子を見学しました。

2022年2月8日(火) 第2回 門真市第四中学校区新しい学校設立準備会

【オンライン会議形式により開催】

どこに建てるの? その間の子どもたちはどうなるの? (第1回の続き)

通学路はどうなるの? 心配なのはどのようなところですか?



学校の施設整備について考える上で、建設場所や建設中の子どもたちの学校生活はどうなるのかについて、教育委員会の検討状況について資料を提示しました。3校の連携や新校の規模や動線の確保、グラウンドの確保、費用、工期、通学路、建設中の子どもたちの学習や周辺住民への影響など、様々な視点から検討したうえで、ご意見をいただきました。

また、新校舎完成時や校舎建設中の子どもたちの通学路についても、教育委員会の検討状況について資料を提示しました。通学路については、今後も継続して議論してまいります。

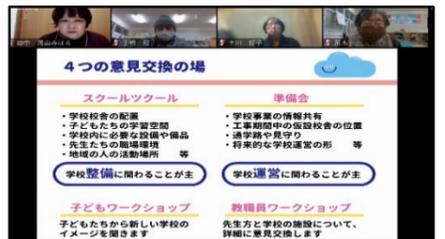
2022年2月16日(水) 第2回 スクールツクール

【オンライン会議形式により開催】



■意見交換「視察の振り返り」

1月12日の凌風小中学校の視察について、写真をまとめたパネルの提示し、また、参加された方から当日の感想や印象に残ったところを発表していただき、情報共有と意見交換を行いました。



■意見交換「学校づくりのコンセプト案の検討」

第1回の意見をまとめたコンセプトのたたきをもとに、[子どもたちが誇れる学校][子どもたちの主体的な学び・学習環境][子どもたちの安心安全の確保][学校と地域のつながりを生む環境]の4つのキーワードをテーマとして意見交換を行いました。

